交換留学報告書

派遣先		
三重大学での所属学部・研究科	三重大学人文学部法律経済学科	
学年(出発時)	3年生	
大学名	ジャウメプリメル大学(UJI)	
国	スペイン	
留学期間	2019年8月22日~2020年3月20日(新型コロナウイルスのため緊急帰国)	
派遣先での身分	交換留学生	

-日の生活スケシ	ジュール(通学時)	
	記入欄	記入例
8:00		
9:00		155 Mb
10:00		授業
	授業	授業
11:00	授業	図書館で自習
12:00		昼食
13:00	昼食	
14:00	企 及	1 - Altr
15:00		授業 ····································
16:00	授業	授業
	授業	
17:00	授業	
18:00	ジム	
19:00		
20:00	カフェで勉強	夕食
21:00		友人と過ごす
		帰宅
22:00		
23:00		
0:00		

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Business Management	4h/1	6	英語	プレゼン・筆記試験
Business Administration	4h/1	6	英語	プレゼン・筆記試験
English for tourism	4h/1	6	英語	試験
Introduction tourism	4h/1	6	英語	試験

大学のサポート	
チューターの有無	有り
チューターのサポート内容	大学生活のサポート
語学コースの有無	有り
コース名、料金、期間等	Curso intensivo de espanõl 121 ユーロ

生活	
住居のタイプ	アパート(賃貸)
住居の名前	
部屋タイプ	4LDK
ルームメイト(国籍)	ポーランド、フランス、イタリア
室内設備	ガスコンロ、冷蔵庫、電子レンジ、オーブン、テレビ、トイレ、シャワー、洗濯機、テーブル、クローゼット、ソファ
共用施設	キッチン、バス、トイレ、洗濯機
インターネット設備	有り
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	自転車10分、バス5分
アルバイトの有無	無し
アルパイトの内容	

渡航	
Visaの種類	長期留学学生査証
Visa申請先	スペイン大使館
Visa取得にかかった日数	57日(2019年6月19日~8月14日)
Visa取得にかかった費用	交通費
Visa取得方法、提出書類等	必要書類提出後、スペイン大使館(東京)へ本人出頭。書類によっては、発行に時間がかかるものもあります。特に、無犯罪証明書は、住民票のある管轄警察署へ本人出頭をし、更に申請から発給まで少し時間が掛かるため注意して下さい。ビザ申請している間は、原則パスポートは大使館に預けなければならない為注意が必要です。約二ヶ月後、再度本人出頭し、ビザを受け取ります。 スペイン入国後、入国日ーヶ月以内に管轄の警察署へアポを取り(オンラインで可能)、本ビザを申請し、学生カード(NIE)を受け取ることができます。2019年8月~2020年3月時点では、NIEの更新は必要ありませんでした。 必要書類 1.査証申請書(スペイン大使館HPからダウンロード可能) 2.写真1枚(4.5×3.5)※カラーで、背景は白3.パスポート、パスポートコピー一部5.無犯罪証明書(三ヶ月以内のもの)6.経済能力証明日本からの往復の経費と月額535ユーロ以上の能力を証明できるものいずれか(私は、通帳のコピーで提出しました)a)残高証明書(原本のみ)b)、直近3か月の銀行口座の残高が記載された銀行通帳(原本とコピーー部)7.海外旅行保険(英文またはスペイン文のもので原本とコピーー部)※クレジットカードに含まれているものは不可(私は学研災のものを利用しました)8.健康診断書(原本とコピーー部)(フォーマットはスペイン大使館HPからダウンロード可能)9.航空券の予約確認書(原本とコピーー部)
留学先大学の最寄り空港までの経路	関西国際空港〜パリ(シャルル・ド・ゴール空港)〜バレンシア空港 ※エールフランス航空利用
波航費用	15,4300円
ピックアップサービスの有無	無し

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	有り
有る場合、その理由	就職活動のため
就職活動開始時期	2021年3月
帰国後の進路	三重大学人文学部法律経済学科

留学にかかった費用	
現地通貨=日本円(約)	1ユーロ=約120円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	98,400円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	310ユーロ(語学コース三回分)、20ユーロ(教科書代)
宿舎費(月額)	195ユーロ
光熱費(月額)	40ユ ー ロ
食費(月額)	150ユーロ
その他	
留学期間中にかかった費用の合計	約120万

|感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

渡西前日、ひつまぶしを食べた帰りの車の中で「お客様のフライトは機体の不具合によりキャンセルされました」と航空会社から連絡が入った。留学にトラブルという言葉はつきものだけれど、いくら何でも早すぎやしないだろうかと思ったことを覚えている。そんな出来事から、私の留学生活は始まったのだ。

ジャウメプリメル大学のあるカステリョンは、非常に留学生にとって過ごしやすい街である。 気候はやはりスペインらしく晴天が続き雨は滅多に降らなかったし、冬はヒートテックがいらない日も多い。 天気が良いというだけでも気持ちは明るくなるものだ。大学近くには、セントロという中心街があり、そこに行けば何でも揃うし、バルも沢山並んでいる。治安も比較的良く、出会う人も親切で気さくな人ばかりだ。 大学や街で出会う人の優しさと自分のあまりの言語能力の拙さに来たばかりの頃は毎日のように涙が出た。私は授業を英語で受けていたから、授業で英語を話し、そのほかではスペイン語を使っていた。 英語を使うのもスペイン語を使うのもどちらも慣れるのに時間が掛かったし、スペイン語コースは一番下のクラスから始まった。 日常生活も日本で一人暮らしをしたことがなく、それすら初めての状況だった。 それでも、家の前の八百屋のおばあちゃんが桃を多めにくれたり、シェアハウスしているポーランドの友人がケーキを焼いてくれたり、大学の先生がスペイン版のドラえもんを授業の前に流してくれたり、図書館の警備員のおじさんに励まされたり、他にも数えきれないくらいの人たちに支えられて、生活していた。 そんな人達に、自分の言葉でちゃんと感謝を伝えて、対等に話せるようになりたいと思ったし、ありがとうの一言でしかお礼を表現できないもどかしさを何度も実感した。 スペイン語はやればやるだけ、目に見えて上達すると思う。 机に向かって単語と文法を学習し、外で生のスペイン語を聴いて話す。 インプットとアウトプットを時差なくできる絶好の環境だった。

数ヶ月すると、ようやく慣れてきたと感じることができた。遊ぶのも楽しくなり、ハイキングに出かけたり、大学の先生達と大きな鍋でパエリアを作ったり、サッカー観戦に行ったり、と充実していた。冬には、バスク地方へ一人旅に挑戦した。 大学の先生に声を掛けられ、「ひらがな」を教える機会に恵

まれた。書き順をどう説明したらいいのかを悩むこともあったけれど、それ以上に自分の母国語を異国の人達が学んでくれていることが本当に嬉しかった。

順調にスペイン語を学

び、最後のスペイン語のコースは一番上のレベルにあがる事ができたが、新型コロナウイルスの影響で3月に帰国が決まり、受けれなくなってしまった。正直心残りが沢山あるし、友人やお世話になった先生にお礼すら言えなかった状況で、心底悔しい。しかし、その決断をしたことすら成長と捉える事ができるならば、私はこの8ヶ月弱で成長できたと言えると思う。

今後留学する人へのアドバイス

今この報告書を読んでいただいている方にとって、留学にはどのようなイメージがあるだろうか?なんだか大変そうとか、ハードルが高いと思っている方も中には居るのではないかと思う。しかし、そんなにハードルの高いことでもないのだということを知って欲しい。確かに、ビザの申請は煩雑だが、面倒くさい手続きは初めのうちにほとんど終わってしまうし、もちろん言語も文化も違う国で生活するのは日本と違って戸惑うこともあるけれど、それも一瞬だ。だから、もし少しでも「留学」という言葉が頭の片隅にあるならば考え込まずとりあえずその足で留学支援室に行ってみて欲しいと思う。私としては、スペイン・ジャウメプリメル大学への留学を強く強くおすすめしたいが、支援室にはあらゆる留学の情報が揃っている。そこから自分の気に入る国を探すことができる。

「留学したい」と今そう思うなら、今行動するに越したことはない。学生のうちであれば、まとまった時間が取りやすいしあらゆる場所で学割がきく。学割の恩恵は想像以上に大きい。勿論、なぜ行くか?を明確化する必要はあるだろうが、留学に行きたいと思うきっかけは正直本当になんだって良いと思う。かく言う私の留学のきっかけも人に語れるほど大層なものではない。そんな私でも、諸々の手続きをし、時に落ち込みながらも、楽しく充実した留学に行けてしまうのだから。これを読んでいただいた方の留学へのハードルが下がったなら嬉しく思う。留学候補としてスペインを考えてくれているのなら、もっと嬉しい。

報告書記入日